

ほどがやくたぶんかきょうせい 保土ヶ谷区多文化共生まちづくりプラン がいようばん 【概要版】

ほどがやくたぶんかきょうせい

●保土ヶ谷区多文化共生まちづくりプランとは

趣旨：保土ヶ谷区では、現在、約5,500人の外国人住民が暮らししており、出身の国籍・地域は80以上にわたります。本プランは、区が基本目標としている「いつまでも住み続けたいまちほどがや」について、日本人にとっても外国人にとっても「住み続けたい」と思えるまちの実現に向けて策定するものです。

計画期間：令和4（2022）年度から令和7（2025）年度の4年間とします。

ほどがやく がいこくじんじゅうみん じょうきょう

●データでみる保土ヶ谷区の外国人住民の状況

★増加する外国人数

- 保土ヶ谷区では市内で6番目に外国人住民が多く暮らししています。
- 外国人数は30年間で4倍以上に増えています。
- 令和2（2020）年3月末には、5,862人となりました（コロナ禍の影響等により、令和3（2021）年3月末現在は、5,509人でした。）

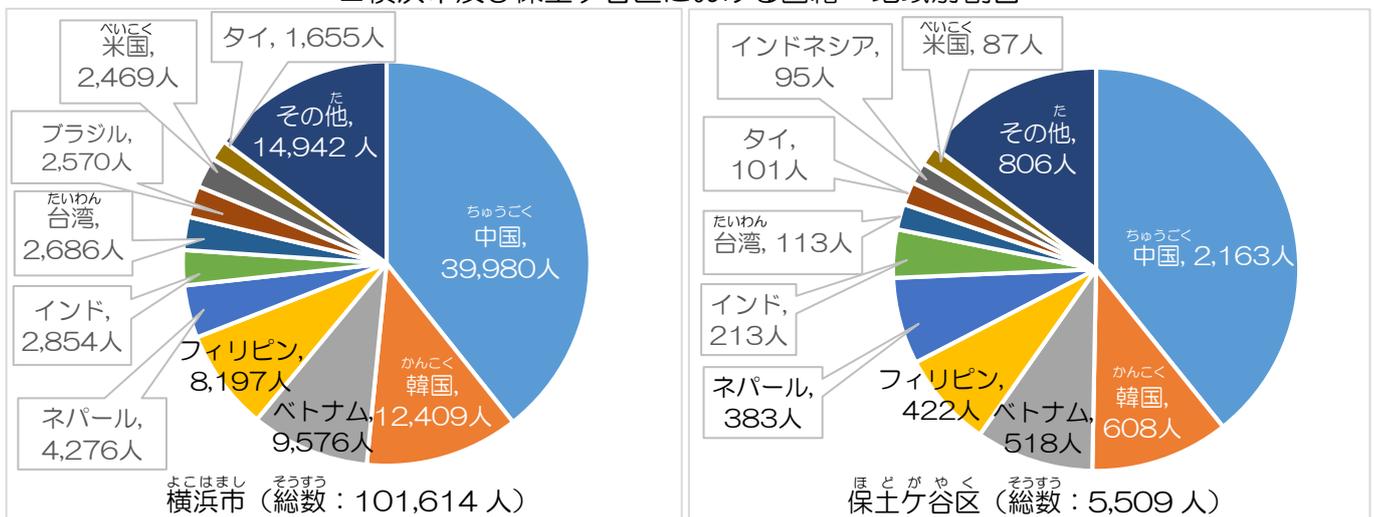
■ほどがやくにおける外国人数の推移（単位：人）



資料：住民基本台帳 各年3月末日現在

★出身の国・地域の状況

■横浜市及び保土ヶ谷区における国籍・地域別割合



資料：住民基本台帳 令和3（2021）年3月末日現在

ほどがやく かだい

●保土ヶ谷区における課題

区内にお住まいの外国人や日本人の方に直接お話を伺ったところ、次のような課題が浮かび上がってきました。

- 課題1 「言葉の壁」への対応が、生活する上での最大の課題です。
- 課題2 多文化共生意識の醸成と、豊かな多文化交流が求められています。
- 課題3 外国人住民が参加し、活躍する地域づくりが求められています。
- 課題4 ほどがや国際交流ラウンジの機能強化が求められています。

●こんな「多文化共生のまち」をめざします

基本理念 多様な人と文化がつながり支え合い 未来を創るまち ほどがや

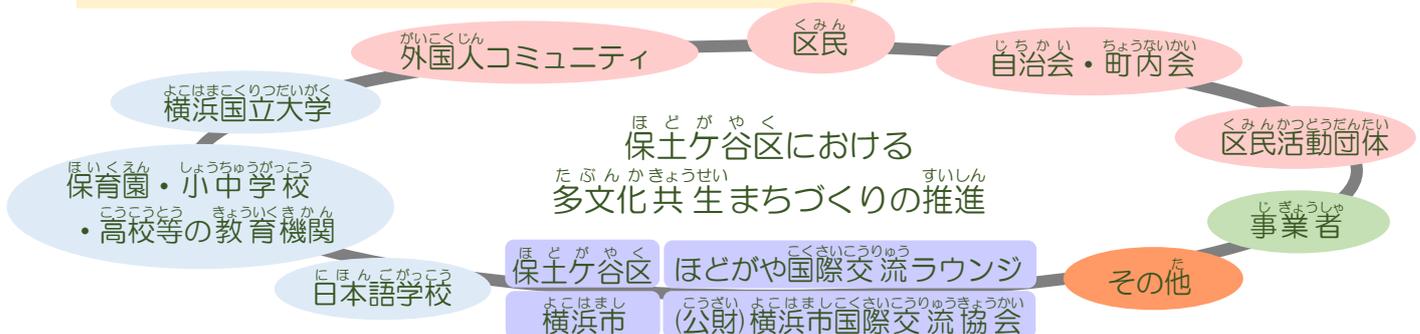
●保土ヶ谷区多文化共生まちづくりの基本方向

★基本方針と施策

基本理念の達成に向けて、3つの基本方針と6つの施策を掲げ、取組を進めていきます。

| 基本理念 | 基本方針 | 施策 | 主な取組 |
|-------------------------------------|------------------|---------------------------|---|
| 多様な人と文化がつながり支え合い 未来を創るまち ほどがや | 1 情報提供・相談体制の充実 | 情報の多言語化の推進 相談体制の強化 | ① 区役所における多言語対応の充実 ② やさしい日本語での対応促進 ③ 相談対応ネットワークの充実 |
| | 2 多文化交流の推進 | 多文化共生意識の醸成 多文化交流の体制の充実 | ④ 日本語学習支援の充実 ⑤ 子ども・子育て期からの意識づくり ⑥ 地域や職場における意識づくり |
| | 3 外国人住民の参加・活躍の促進 | 地域の一人としての参画及び活躍の促進 | ⑦ 保土ヶ谷区ならではの交流事業の充実 ⑧ 担い手の育成 ⑨ コーディネート機能の充実 ⑩ 地域の一人としての参画及び活躍の促進 |

★保土ヶ谷区多文化共生まちづくりプラン推進体制



お問い合わせ先 保土ヶ谷区役所区政推進課【TEL】045-334-6227【FAX】045-333-7945【E-mail】ho-tabunka@city.yokohama.jp